

1. 事業の概要

自動車から発生する排出ガス、騒音を低減することを目的として、自動車単体規制の強化など必要な対策を実施してきたところである。

今後、これまでの規制の強化による排出実態の変化を踏まえつつ、走行実態・排出実態をより反映させた排出ガス試験法について検討する必要がある。また、最近においては、PM2.5など微小排出粒子に対する新たな規制の強化が求められてきている。さらに、化学物質の健康影響に関する知見の蓄積を踏まえて従来の物質以外の有害物質の排出実態の把握も必要となってきたほか、規制の強化に対応した新たな排出ガス後処理低減装置の導入による温室効果ガスの排出増加や、地球温暖化対策の柱の一つであるバイオ燃料の使用拡大による有害物質の排出増加の可能性がある。このため、これら現行において規制されていない有害物質等の排出実態を把握する必要がある。

また、騒音については、環境基準達成率は未だ十分ではなく、苦情も減少していない状況である。この原因としては、現行において規制されていないタイヤ騒音や、騒音試験法では評価できない走行実態・騒音実態があるものと懸念されている。このため、これらの騒音の実態を把握する必要がある。

上記の調査結果を踏まえ、必要に応じ、現行規制の強化や見直し、新たな対策の検討を行い、自動車から発生する排出ガス、騒音の更なる低減を図る。

2. 事業計画

調査項目	H21	H22	H23	H24以降
ディーゼル自動車等排出ガス低減施策検討調査				→
自動車からの有害大気汚染物質排出実態調査				→
自動車から排出される粒子状物質の排出特性実態調査				→
バイオ燃料使用時の未規制物質の排出実態調査				→
タイヤ単体騒音実態調査			→	
重量車の排出ガスモードの国際基準調和に関する調査			→	
先駆的排出ガス計測手法の検討調査			→	
騒音試験条件外における自動車騒音実態調査			→	

3. 施策の効果

自動車から発生する排出ガス、騒音の更なる低減が図られる。

4. 備考

調査費

202百万円

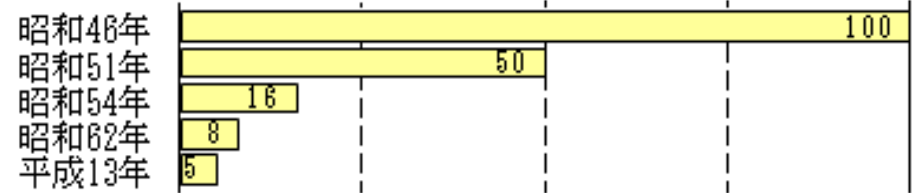
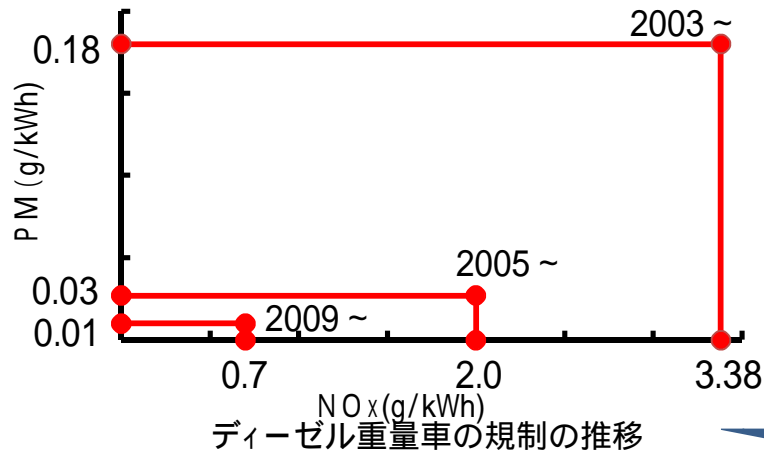
(内訳)

ディーゼル自動車等排出ガス低減施策検討調査	15	百万円
自動車からの有害大気汚染物質排出実態調査	18	百万円
自動車から排出される粒子状物質の排出特性実態調査	55	百万円
バイオ燃料使用時の未規制物質の排出実態調査	25	百万円
タイヤ単体騒音実態調査	11	百万円
重量車の排出ガスモードの国際基準調和に関する調査	30	百万円
先駆的排出ガス計測手法の検討調査	38	百万円
騒音試験条件外における自動車騒音実態調査	10	百万円

自動車公害実態調査・対策検討費

自動車から発生する排出ガス、騒音を低減することを目的として、自動車単体規制の強化など必要な対策を検討するための経費。

これまで、実態調査、技術開発動向調査、試験等を実施し、排出ガス、騒音規制の強化等の対策を実施。



小型二輪 加速走行騒音の規制の推移

これから、現行規制の強化の他、様々な課題について検討を行う必要がある。

【排出ガス規制】

現行規制の強化・見直し、その効果等を検討するための調査

- ・ディーゼル自動車等排出ガス低減施策検討調査
- ・重量車の排出ガスモードの国際基準調和に関する調査

未規制物質の排出実態の調査

- ・自動車からの有害大気汚染物質排出実態調査
- ・自動車から排出される粒子状物質の排出特性実態調査
- ・バイオ燃料使用時の未規制物質の排出実態調査
- ・先駆的排出ガス計測手法の検討

【騒音規制】

新たな騒音試験方法の検討

- ・タイヤ単体騒音実態調査
- ・騒音試験条件外における騒音実態調査

更なる排出ガス・騒音の低減